

第438回番組審議会

1. 日 時 平成20年12月17日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 11名

出席委員	委員長	橋田 純一
	副委員長	帷子 利明
	委員	佐藤 晴久
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸
	委員	清野 雅子
	委員	森本 雅司
	委員	宮 勉
	委員	千葉 幸長
	委員	望月 善次
	委員	中井 雅彦

欠席委員	委員	西郷 喜代子
	委員	安藤 茂

社側出席者	矢後 勝洋(代表取締役社長)
	石井 修平(専務取締役)
	阿部 孝夫(常務取締役)
	千葉 正範(取締役営業局長)
	淵沢 行則(制作局長)
	鈴木 直志(報道局専任局長)

事務局	青山 尚之(編成局長)
	畠 義真(編成局編成部長)

4. 議 題

1. 今年 1 年の番組を振り返って

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・BPO報告
- ・タイムテーブル

6. 議事の概要

社側説明

本日の議題は、弊社で放送された「今年 1 年の番組を振り返って」です。ご意見、感想を頂きたいと存じます。それではよろしく申し上げます。

委員側意見

今年は岩手県では 2 度の地震や平泉の世界遺産の登録延期、食の安全の問題、最近では金融経済環境の急速な悪化、雇用削減といった暗い話題が多い年だった。テレビ岩手の番組は、総じてタイムリーな時期にタイムリーなシリーズを組んでいたと思われる。引き続き旬な話題を旬な時期に取り上げていてもらいたい。平泉世界遺産関連や食の安全など、継続的に追いかけるべきテーマは定期的に取り上げて欲しい。また暗い話題が多いからこそ、単に暗い事実のみを伝えるのではなく明るい側面にも積極的にスポットを当てても欲しい。

夕方の「5 きげんテレビ」から「プラス1いわて」の流れは安定感がある。レギュラーと単発、多くの番組制作による情報発信には、局のパワーを感じる。

我々、番組審議委員の発言がどのように生かされたのかということをより明示的にしてほしい。審議会がどういう位置にあって、どのように生かされたのかということが示されると、更にレベルアップするのでは？

テレビ岩手は来年 40 周年を迎えるが、周年イベント等、具体的な内容は？

社 側

番組審議委員会の声というものは私達にとって「神の声」。製作者自身が気付かない面をみせつけられるとか厳しくえぐられるといった意味で非常に役立っています。制作者は独りよがりなところがあるので、審議委員の皆様から客観的なご意見を直

接聞くことはとても勉強になります。これからも「なかなか良くなってきたな」というふうに感じていただけるよう頑張っていきたい。

テレビ岩手は昭和 44 年の 12 月 1 日開局で来年 40 周年を迎えます。育てていただいた岩手の皆様に感謝というコンセプトで 40 周年を迎えようと思っています。

1 月から番組やイベントなど様々な企画を検討しています。わくわくさせるような夢のある世界を提供していくことも大事だということも含め、「不惑わくわく」をキャッチフレーズに、展開していく予定です。ご期待下さい。

7. 審議内容

別載のとおり

8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成 20 年 12 月 23 日(火)午前 11 時 45 分～11 時 52 分放送)で、審議の概要を放送。

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。